

約80カ国から選出された18歳以下の若者が数理工学情報の難問に挑む国際情報オリンピック（IOI）の日本代表4人が決まった。21回目となる今年のIOIはブルガリアで8月に開催される。日本は08年大会で金1、銀1、銅2と参加者全員がメダルを獲得。今大会には前回のメダリスト3人が代表に選出されており、金2個以上、全員メダル獲得」（谷聖一団長、II日大教授）を目指す。

## 金メダル2個以上目標に

今年の日本代表選考には、いずれも高校2年生。

1次予選に415人が参加。成績上位者50人による2次を通過した16人がこのほど都内で最終予選を行い、前回の金メダリストの保坂和宏君（開成高）、同銀の副島真君（筑波大付属駒場高）、同銅の滝間太基君（同）と、初出場の平野湧一郎君（灘高）が選出された。い

ずれも高校2年生。IOIは、問題を解くためのアルゴリズムを考えてプログラムを作成し、コンピュータ上で実行させて結果の正しさを競う。1日5時間で3問を解く個人戦。プログラムを作成する使用メモリ量や実行時間に厳しい制限があり、思い

つまままに書いたプログラムでは時間内に答えが出な



代表に決まった4人（左から副島君、滝間君、平野君、保坂君）

い。最終予選でも「星空のど

うした課題を考慮して星空

の場所をどのくらいの幅で切り取れば最良の画像を撮影できるか」といった問題が出された。画像をアップすれば撮影できる星の数

データを解析できるプログラムを短時間で作成しなければならぬ難問だ。

日本勢はバブル崩壊に伴う活動資金難で97年から9年間、IOIに参加できなかった。だが、新3K職場からの脱却を目指す情報サービス産業の魅力を若者に伝えようと、科学技術振興機構やNTTデータ、富士通などが活動を支援。06年のメキシコ大会からメダリストを出すなど、年々競争力を高めている。目標に掲げる金2個以上を獲得し、日本の数理工学能力を世界に示したいところだ。

## 国際情報オリンピック

## 代表の4人決まる

# 日本の数理工学能力世界に示す

日本勢はバブル崩壊に伴う活動資金難で97年から9年間、IOIに参加できなかった。だが、新3K職場からの脱却を目指す情報サービス産業の魅力を若者に伝えようと、科学技術振興機構やNTTデータ、富士通などが活動を支援。06年のメキシコ大会からメダリストを出すなど、年々競争力を高めている。目標に掲げる金2個以上を獲得し、日本の数理工学能力を世界に示したいところだ。